

阿賀野川

aganogawa E-toko dayori

えとこだより



ここにあるすべてを、
かけがえのない「宝もん」へ。

「常浪川と高校生」(阿賀町津川)／川田壮一氏撮影(阿賀町公営塾黎明学舎提供)

もくじ

平成30年度パネル巡回展	阿賀の宝もん★発掘レポート(第4回)	阿賀町公営塾黎明学舎・紙芝居教材完成	2
特集1 阿賀野川エコミュージアムを 目指す流域再生フォーラム(第8回)	阿賀の宝もん★発掘レポート(第4回)	阿賀町公営塾黎明学舎・紙芝居教材完成	2
昭和30～40年代の日本・高度経済成長の光と影	阿賀の宝もん★発掘レポート(第4回)	阿賀町公営塾黎明学舎・紙芝居教材完成	2
特集2 地域再発見講座(第21・22回)レポート	阿賀の宝もん★発掘レポート(第4回)	阿賀町公営塾黎明学舎・紙芝居教材完成	2
【第21回】阿賀野川の上流から下流をめぐる旅	阿賀の宝もん★発掘レポート(第4回)	阿賀町公営塾黎明学舎・紙芝居教材完成	2
【第22回】阿賀流域はなんの歴史体験プログラム	阿賀の宝もん★発掘レポート(第4回)	阿賀町公営塾黎明学舎・紙芝居教材完成	2

阿賀野川流域の教育を、実り豊かにしていくために

新潟水俣病問題が今も続く阿賀野川流域の地域再生を目指して、およそ10年前から始まったFM事業ですが、その間に日本全体を覆う少子高齢化の波が流域においても確実に進行し、その象徴として学校の統廃合が加速しています。地域の教育環境をどう見直していけば良いのか、今後ますます問われる時代になりました。

一方、教育現場では、複雑化する現代社会に必要な資質や能力を向上させるべく、地域独自の歴史や環境、英語やプログラミング、キャリア教育など、多種多様な学習を横断的につなぐ教育が奨励されています。ところが、それらを実り豊かな教育として実現する時間や人材などの教育資源は不足しがちです。

そのため、再編の波に飲まれる学校と協働できる地域団体の重要性が、ますます高まりつつあります。今号でも特集した「黎明学舎」はその典型で、学校と協働して過疎地の教育環境を実り豊かにする機能や価値を提供しています。翻って、公害の光と影を巡る体験にも、流域の教育環境を実り豊かにする機能や価値を追求していきます。

※FM事業とは「阿賀野川えとこだプロジェクト」のこと。詳細はP. 8参照。

実り豊かな教育環境を生み出す
地域との協働を模索して



貴重な写真でたどる
昭和30～40年代の日本、高度経済成長の光と影
躍進する日本経済の陰で、四大公害が投げかけた問い、



平成30年度パネル巡回展

まだまだ開催中！

東京タワー、新幹線、東京オリンピック、大阪万博など
……昭和の高度経済成長に湧く日本の裏側で発生し、やがて全国が騒然となった四大公害をめぐる戦後社会の光と影を読み解きました。あの頃の日本の懐かしい写真を数多く使用したパネル作品をぜひご覧ください！



展示期間	展示施設	展示時間・備考
2/19(火)～3/4(月)	新潟市秋葉区文化会館	9:00～21:30 2/25(月)休館
3/5(火)～3/20(水)	阿賀町役場鹿瀬支所ロビー	9:00～16:30 毎週土曜・日曜休館
3/14(木)～3/28(木)	江南区文化会館内 江南区郷土資料館	10:00～19:00 毎週金曜休館 日曜・祝日10:00～17:00



- ◆社会に出ると公害を学ぶ機会がない。そうかといって、学生時代に社会科の授業において深く詳しくは学ばない。大人になって知ること大切だと思った。(五泉市・20代)
- ◆写真の記録の力を感じます。貴重な写真を見ることができました。各地で多くの人たちに見ていただきたいです。(西区・60代)
- ◆忘れてはならない痛ましい事件。今も苦しむ方々が多くいらっしゃる。忙しい日々の中で繰り返し問いかけていかなければならない。(東区・60代)

観覧者の
主な
感想等

「阿賀野川えとこだプロジェクト」とは？

正式には「阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業」(略称FM事業)と言い、阿賀野川流域の各地域が今も続く新潟水俣病と向き合い、それを乗り越えるような「人と人の絆」や「人と自然の関係」をつむぎ直すため、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合い、「新しい地域づくり」を目指して始まったプロジェクトです。

阿賀野川えとこだ！憲章(事業理念)

私たちは新潟水俣病に学び教訓を伝承することで、負の遺産から新たな価値を創造していくことを目指します。阿賀野川流域の宝物を広く内外に発信しながら、公害により失われた人と人、人と自然、人と社会の絆をつむぎ直していきます。地域を愛する人が地域の未来をつくる「流域自治」の確立へ向けて行動します。(阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業推進委員会)

編集後記

第27号はいかがでしたでしょうか？
今号の「阿賀野川えとこだより」も、お知らせする情報が盛りだくさん！阿賀町公営塾の取組を取材した「阿賀の宝もん★発掘レポート」第4弾のほか、年度末恒例の流域再生フォーラムの開催告知と、今年度開催された地域再発見講座のレポートをお届けします。
5月発行予定の次号もご期待ください！



今号表紙の写真「常浪川と高校生」
自然豊かな阿賀町を象徴する麒麟山と、この場所のすぐ先で阿賀野川と合流する清流・常浪川。そんな自然豊かな環境に暮らす生徒たちが通う高校の存続が危ぶまれる中、奮闘する阿賀町公営塾黎明学舎の取組を今号で紹介しました。

阿賀野川えとこだより 第27号

発行：新潟県(※環境省補助事業) 発行日：2019年2月25日
企画編集：一般社団法人あがのかわ環境学舎(〒959-2221 阿賀野市保田 3866-1)

TEL.&FAX. 0250-68-5424
aganogawa@niigata.email.ne.jp

阿賀野川えとこだ!流域通信
<https://aganogawa.info/>

